

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (32,000円) 上記は2024年10月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用(パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5年用 11,000円 / 10年用 16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) このご旅行には2025年8月8日以降のパスポート有効期限が必要です。(+2週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: 45,000円 (ホテルは基本2名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2024年10月1日現在を基準としています。
■旅行契約の解除参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。
この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただけます。
<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
31日目にあたる日以前の解除	無料
30日目にあたる日以降の解除	旅行代金の20%
29日目にあたる日以降の解除	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
 - ①企画手配料金および手配料金
 - ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金
 - ③宿泊費: 下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準)基本宿泊料および税、サービス料 マニラ=The Bayleaf Intramuros, Kimberly ※基本2名一室
 - ④食事代(朝食4回/昼食3回/夕食2回)
 - ⑤見学施設の入場料 ⑥ガイド代
 - ⑦現地協力者の謝礼・同行費用・交流代
 - ⑧通訳者・講師謝礼・同行費用 ⑨添乗員1名同行費用
- 旅行代金に含まれないもの
 - ①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ②超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
 - ③個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等 ④航空会社が課す 成田空港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃(32,000円)2024年10月現在※航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。 ⑤ 海外旅行傷害保険料 ⑥日本国内の交通費、前泊の費用 ⑦お一人部屋料金(45,000円)

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

株式会社 富士国際旅行社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201
henshu@fits-tyo.com 担当: 金光・山田・西須

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(休業日: 土日・祝日)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

- ①【紙でお申込みの場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともに送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**(旅行代金内金)をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。
- ⑤出発2～3週間前に旅行説明会を行います。(オンラインと会場両方可)

参加予約票 株式会社 富士国際旅行社 宛

マニラ市街戦から80年 日本の戦争加害を学び市民と交流する旅

2025年2月8日(土)発

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日生れ () 才	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券(パスポート)【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)			
連絡先	【tel】() - () - 【携帯】 - - 【e-mail】			



マニラ市街戦から80年 日本の戦争加害を学び 市民と交流する旅

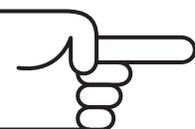
旅行期間 **2025年 2月8日(土)～2月12日(水) 5日間**

旅行代金 **295,000円**

※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・成田空港施設使用料・保安料32,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定員 **20名様** (最低実施人員8名)

申込締切 **1月8日(水)** **添乗員** 成田空港から同行します。



POINT!

- 01 ● 非核フィリピン連合事務局長 コラソン・ファブロスさんが同行・解説します
- 02 ● リラ・ピリピーナ (日本軍性暴力被害者の支援団体) と交流します
- 03 ● 日本軍と米比連合軍の激戦地・コレヒドール島を訪問します

中村みずきさん
企画・同行通訳

脱軍事化、脱植民地化を主なテーマに通訳・翻訳、執筆、ツアー企画などをおこなう。訳書にデニ・ムクウェゲ「勇気ある女性たち 性暴力サバイバーの回復する力」(大月書店)

Peace Green Humanity

旅行企画・実施

(株) 富士国際旅行社

観光庁長官登録旅行業第84号・JATA正会員

旅程表

日次	都 市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 2/8 (土)	成 田 空 港 発 マ ニ ラ 着 空 港 発	航空機 専用車	空路 ✈️ フィリピン航空で首都マニラへ(空港集合午前7時30分予定) 【所要:約5時間半、時差:日本側が1時間進んでいます】 着後:マニラ中心部見学と交流 ★「非核フィリピン連合」事務局長のコラソン・ファブロスさんが同行 *リサール公園(市民の憩いの場でもある広大な公園) >リサール・モニュメント(国民的英雄ホセ・リサールの記念像)、日本庭園、NPDC(国立公園開発委員会)メンバーと交流 ホテルにチェックイン ■夕食 マ ニ ラ 泊 B X L 機 D R
② 2/9 (日)	ホ テ ル 発 ホ テ ル 着	専用車	終日:マニラ市内見学 *イントラムロス >サンチャゴ要塞、リサール記念館 サン・アグスティン教会、慰霊碑メモラーレ・マニラ1945 (途中昼食休憩) □夕食(自由食) マ ニ ラ 泊 B H L R D X
③ 2/10 (月)	ホ テ ル 発 ホ テ ル 着	専用車	終日:マニラ市内見学と訪問 *リラ・ピリピーナ(日本軍性暴力被害者の支援団体)と交流 *英雄記念博物館 *サント・トマス大学 □夕食(自由食) マ ニ ラ 泊 B H L R D X
④ 2/11 (火)	マ ニ ラ 発 コレヒドール島着 コレヒドール島発 マ ニ ラ 着	フェリー 専用車 フェリー	終日:コレヒドール島を訪問(日本軍と米比連合軍の激戦地) ※下記見学地一例: *ボトムサイド *マリントンネル *アメリカ軍弾薬庫 *コレヒドール博物館 *スペイン灯台 ■夕食 マ ニ ラ 泊 B H L R D R
⑤ 2/12 (水)	ホ テ ル 発 空 港 着 マ ニ ラ 発 成 田 空 港 着	専用車 航空機	午前11時30分まで自由行動 専用車でマニラ空港へ 空路 ✈️ 直行便で帰国の途へ 【所要:4時間半】 B H L X D 機

- 【ご注意】 現地の都合により、訪問順序・日時が入替わり場合がございます。
- 利用航空会社 : フィリピン航空、日本航空、全日本空輸いずれか
 - 宿泊予定ホテル: マニラ=The Bayleaf Intramuros, Kimberly または同等レベル
 - 旅程表のマーク: B=朝食、L=昼食、D=夕食、H=ホテルで、R=レストランで、X=自由食、機=機内食

コラソン・ファブロスさん

フィリピンで原子力発電所計画の阻止や米軍基地閉鎖のたたかいを主導してきた非核フィリピン連合の事務局長。国際平和ビューロー(IPB)共同会長。アジア・ヨーロッパ人民フォーラム、軍産複合体解体ネットワーク、軍事主義を許さない国際女性ネットワークなど、さまざまな国際キャンペーンで中心的役割を担っている。

フィリピン基本情報

【正式国名】フィリピン共和国 【人口】約1億1560万人
【言葉】タガログ語 【時差】日本より1時間遅れ
【通貨】フィリピン・ペソ
【食べ物】歴史的に様々な国の影響を受けているフィリピンでは多国籍料理が楽しめます。主食は米で、味付けにはコナツツや魚醤がよく使われます。南国ならではのフルーツも魅力的です。
【気候】フィリピンの気候は熱帯性気候。年間を通じて暖かく、年平均気温は26~27℃。6~11月が雨期、12~5月が乾期に分かれています。

現地の気温 2月

都市	最低気温	最高気温
マニラ	24℃	31℃
東京	5℃	10℃

「マニラ市街戦」から80年

慰霊碑メモラーレ・マニラ1945 ▶

1941年、日本時間12月8日未明に起こった真珠湾攻撃によりはじまったアジア太平洋戦争。1942年1月日本軍はフィリピンに侵攻し、同年4月にバターン半島を占領しました。米軍やフィリピン兵の捕虜をバターン要塞から捕虜収容所まで最大百数十キロ強制的に歩かせた「バターン死の行進」により約1万人が死亡しました。マニラ市街戦は、1945年2月3日からマニラ奪還を目指す米軍と抵抗する日本軍との約1か月間にもおよぶ戦闘です。この市街戦によって市民10万人が犠牲になり、特にスペイン時代の要塞都市イントラムロスで、日本軍は多くのマニラ市民を虐殺しました。アジアでは最大規模の市街戦となり、マニラの町は灰燼に帰しました。市民を大量虐殺し、極東国際軍事裁判をはじめとする戦犯裁判で断罪された点で南京事件(1937年)と共通点があるとされています。



リサール公園「広島の石」

フィリピンの独立運動家で国民的英雄のホセ・リサールの名が付けられた公園。ホセ・リサール記念像が建っており、その下には彼の遺体が埋葬されています。現在は市民の憩いの場として賑わい、園内には日本庭園・中国庭園・国立図書館・国立博物館などがあり、日本庭園内に「ひろしま・祈りの石国際教育交流財団」より寄贈された「広島の石」が展示されています。石が寄贈された8月21日(1991年)には毎年、フィリピンの平和活動家がNPDCとともに記念行事を開催しています。

英雄記念博物館

1965年~86年の20年間マルコス政権の圧制を経験したフィリピン。独裁政権の下、多くの人が投獄・拷問され犠牲も多数出ました。英雄記念博物館は、そうした民主主義獲得への犠牲の記憶を後世に引き継ぐため2007年にオープンしました。同志や遺族によって運営され、独裁政権時の様子を伺い知ることができる貴重な場所です。博物館が位置するのはマニラの北東に位置するケソン市。この場所は1986年に打倒マルコス政権の大規模蜂起が市民によって行われた場所です。

コレヒドール島

マニラから船で向かう位置に存在するコレヒドール島。その位置関係から、首都マニラをマニラ湾からの侵略から守る軍事拠点として役割を担いました。太平洋戦争初期に日本がフィリピンを占領した際にこの島も占領され、日米の戦いの激戦が繰り広げられた土地として知られる島です。現在も戦争当時の砲台や弾薬庫などが残されており、今回のツアーでは戦跡巡りをします。

コレヒドール島の旧日本軍要塞跡 ▶



マニラ最古の城郭都市 インtramuros

リサール公園の北側にある16世紀のスペイン統治時代に造られた旧城塞都市です。当時は政治・軍事・宗教の中心地として機能しました。イントラムロスはスペイン語で“壁の内側”を意味します。第二次世界大戦で建物の大部分が破壊されましたが、1980年代に町が復旧されました。現在世界遺産にも登録されており、イントラムロスに存在するサン・アグスティン教会は第二次世界大戦を経て、唯一現存する建物です。



▲サンチャゴ要塞

リラ・ピリピーナ

アジア太平洋戦時下のフィリピンにおいて「慰安婦」として日本軍による性暴力被害を受けた女性達と支援者によって、1992年に設立された人権団体です。サバイバーのロラ(フィリピンの言葉でおばあさん、親愛を込めて呼ぶ)の生活福祉支援を行うとともに、日本政府に対して公式謝罪と法的補償、歴史教育を求める抗議活動等を行う組織です。その他にもロラに対するケアとして様々なプロジェクトを展開しています。

フィリピン
全図

